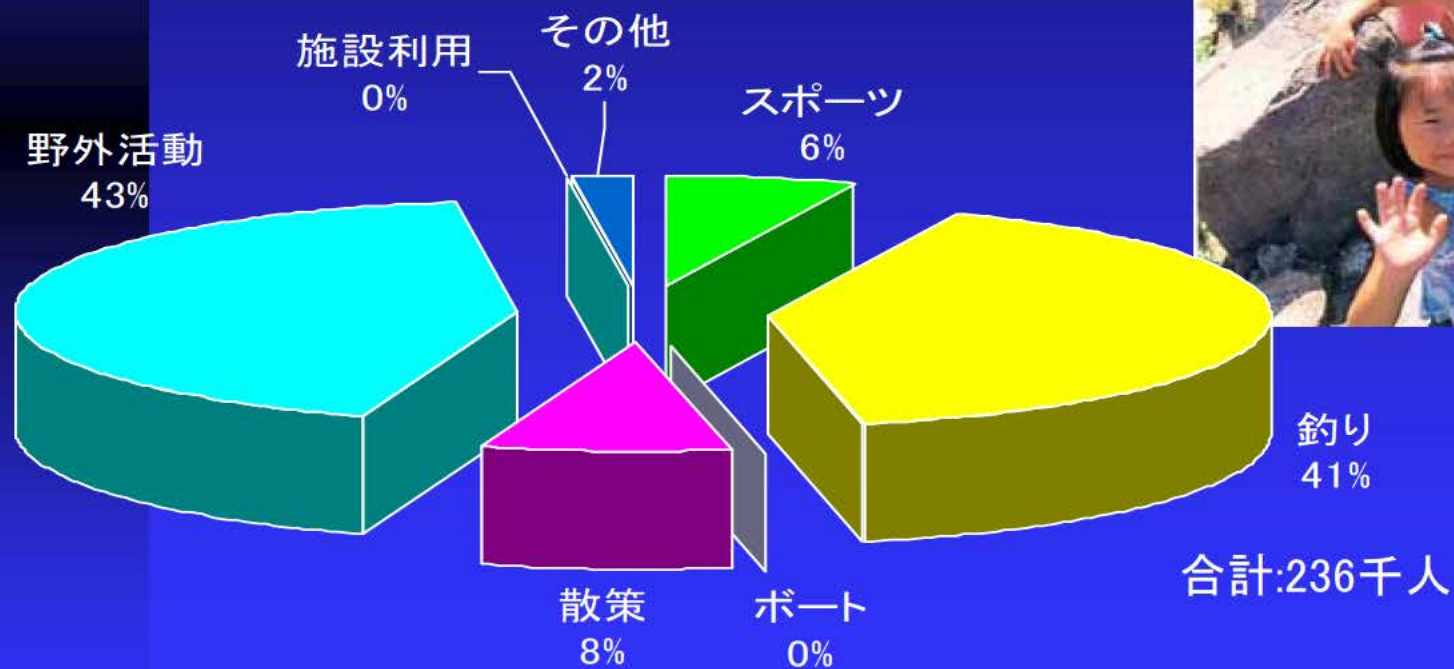


# ダム湖面利用

## 一庫ダム(知明湖)の利用状況

釣り及び野外活動が、各々約4割となっています。



出典:平成9年度河川水辺の国勢調査  
[ダム湖版](ダム湖利用実態調査編)

## ⑥ その他

### ■ダム湖面利用

「水源地として、保全するのか、地域の振興、  
又レクリエーション空間として活用するのか」

#### 利用

- ・木陰の提供、休憩スペース
- ・見た目の安らぎ
- ・景観のポイント
- ・阪神間の身近なオアシスの一つとしての利用
- ・キャンプ等の自然体験の場、環境教育の場
- ・飲み水としての保全

#### 治水

#### 環境

- ・湖面特有の生物生息空間
- ・見た目の安らぎ
- ・景観のポイント

# ダム湖面利用

## 一庫ダム(知明湖)の利用状況



治水

利水

環境

バランス

河川整備計画

# 河川空間利用の基本的方向性

- 河川は河川としての機能を果たすべき。
- 本来、河川は河川としての機能を果たす場で、できるだけ自然に戻すべき。
- 都市的利用(河川公園等)と自然的利用のバランスの検討。

従来、ユーザーからの価値感、ニーズに応じて、  
河川管理者は調整整備を行っていた。

ユーザーの価値感、河川管理者の考えと、  
河川本来の姿とに食い違いが見られた

今後、昨今の多様な価値感、ニーズを踏まえ、  
河川本来の姿を描きつつ、時間軸と、平面的な  
ゾーニングを重ねた調整、整備が必要とされている

例)〇〇地区のグラウンドは、ユーザーとの調整を行い  
〇〇年後までに半分とし、〇〇年後には全て撤去し、  
河川本来の姿に戻す。

河原や不陸をつくり、抽水植物等が繁る場とし、環境教育  
の場として利用する。